

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジあり）」および「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジなし）」“愛称 たんはい”は、去る10月20日に第6期の決算を行いました。本ファンドは主として米国市場の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行っております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド  
(為替ヘッジあり)

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド  
(為替ヘッジなし)

愛称

# たんはい

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジあり）

第6期末（2020年10月20日）	
基準価額	9,421円
純資産総額	42百万円
第6期 (2019年10月22日～2020年10月20日)	
騰落率	△0.5%
分配金合計	100円

(注1) 騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジなし）

第6期末（2020年10月20日）	
基準価額	9,858円
純資産総額	87百万円
第6期 (2019年10月22日～2020年10月20日)	
騰落率	△1.6%
分配金合計	50円

(注1) 騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 第6期

決算日

第6期 2020年10月20日

作成対象期間（2019年10月22日～2020年10月20日）



## あおぞら投信株式会社

東京都千代田区麹町6-1-1

■ ホームページアドレス（基準価額をご確認いただけます。）

<http://www.aozora-im.co.jp/>



■ お問い合わせ先

<お問い合わせ窓口>

# 03-6752-1051

受付時間：

営業日の午前9時から  
午後5時まで

\* お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

○本ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。また、運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

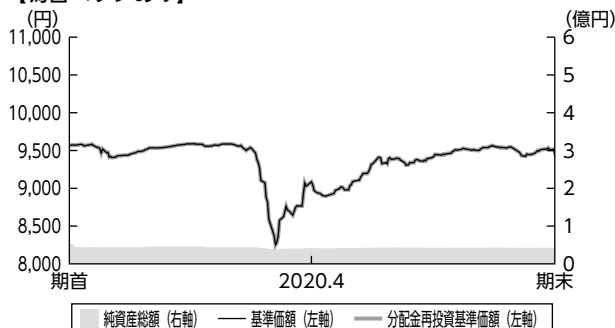
<運用報告書（全体版）閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報・基準価額一覧」を選択⇒「ファンダー一覧」より該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）一覧」を選択

## 運用経過 (2019年10月22日～2020年10月20日)

### 基準価額等の推移

【為替ヘッジあり】



第6期首：9,568円  
第6期末：9,421円 (既払分配金100円)  
騰落率：△0.5% (分配金再投資ベース)

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、期首(2019年10月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

※上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

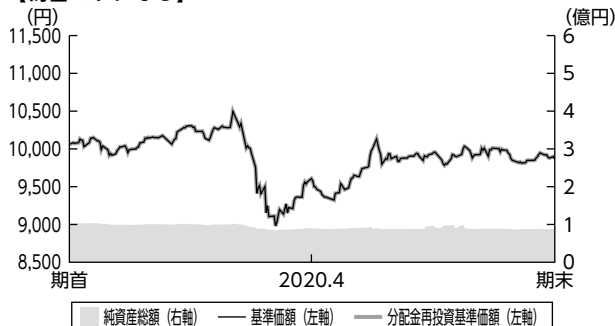
### 基準価額の主な変動要因

【為替ヘッジあり】

本ファンドの基準価額は、当期末において9,421円となり、当期中に支払われた合計100円(1万口当たり、税引前)の配当金を加味した当期リターンは、0.5%(信託報酬控除後、分配金再投資ベース)の下落となりました。

### 基準価額等の推移

【為替ヘッジなし】



第6期首：10,064円  
第6期末：9,858円 (既払分配金50円)  
騰落率：△1.6% (分配金再投資ベース)

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、期首(2019年10月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

※上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### 基準価額の主な変動要因

【為替ヘッジなし】

本ファンドの基準価額は、当期末において9,858円となり、当期中に支払われた合計50円(1万口当たり、税引前)の配当金を加味した当期リターンは、1.6%(信託報酬控除後、分配金再投資ベース)の下落となりました。

米国ハイ・イールド債券市場全般より比較的質が高く、償還までの期間が短いポートフォリオを維持することで、高いインカム・ゲインを獲得しながら、元本の保身を優先したポートフォリオを構築していますが、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、米国ハイ・イールド債券市場が向かい風に直面した局面において、基準価額が大きく下落しました。その後、市場環境が改善した局面では基準価額が回復しましたが、当期を通じて基準価額は下落しました。また、ドル円為替レートで、円高ドル安が進行したことも、為替ヘッジなしにおいてマイナス要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細（2019年10月22日～2020年10月20日） 【為替ヘッジあり】

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	105	1.124	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,349円です。
(投信会社)	(51)	(0.548)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(51)	(0.548)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	19	0.200	(b) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
(監査費用)	(19)	(0.200)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	124	1.324	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

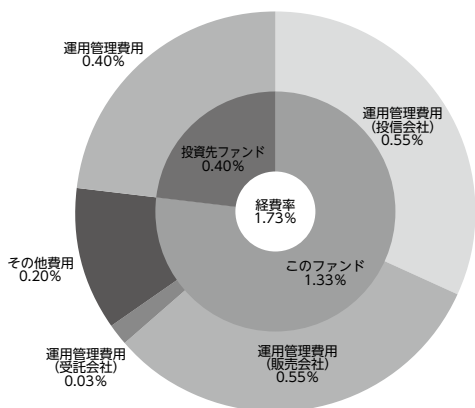
(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

### （参考情報）

#### 経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.73%です。



経費率 (①+②)	1.73%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【為替ヘッジなし】

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	111	1.124	(a) 信託報酬 = (期中の平均基準価額) × 信託報酬率 期中の平均基準価額は9,871円です。
(投信会社)	(54)	(0.548)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(54)	(0.548)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	20	0.198	(b) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
(監査費用)	(20)	(0.198)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	131	1.322	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

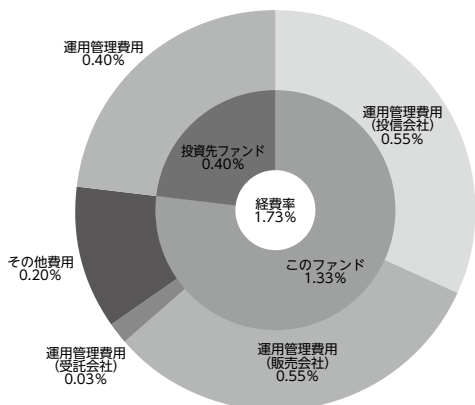
(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.73%です。



経費率 (①+②)	1.73%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

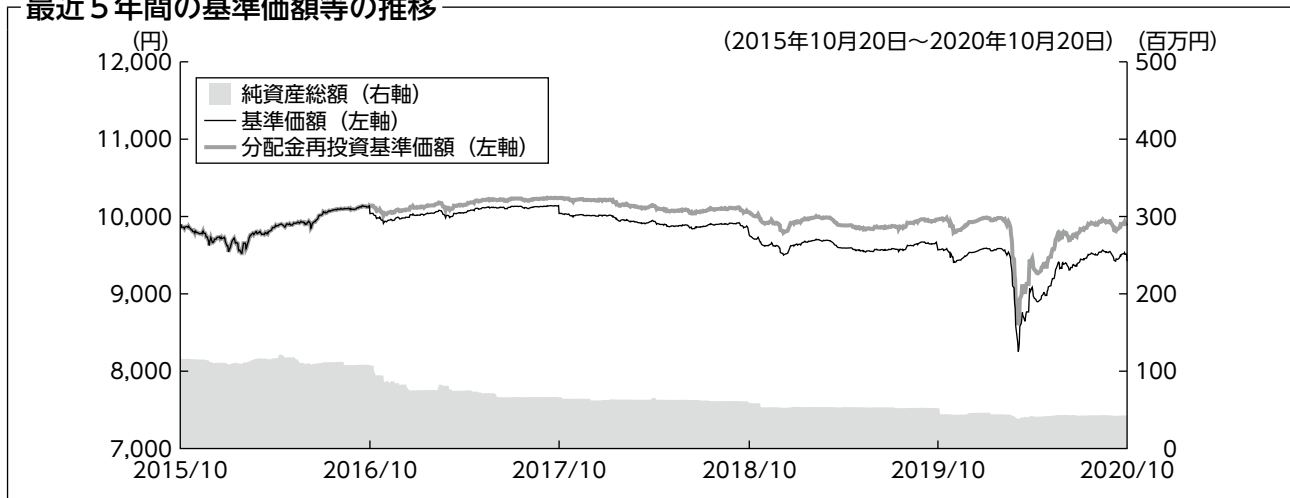
(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 【為替ヘッジあり】

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年10月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

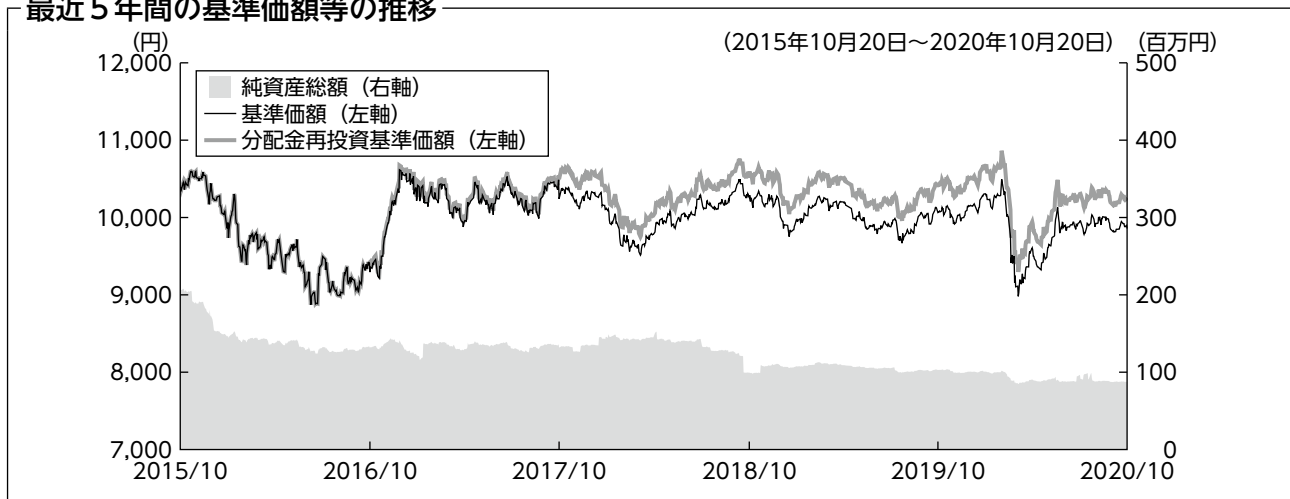
決算日	2015年10月20日 (期初)	2016年10月20日 (決算日)	2017年10月20日 (決算日)	2018年10月22日 (決算日)	2019年10月21日 (決算日)	2020年10月20日 (決算日)
基準価額 (円)	9,874	10,037	10,039	9,758	9,568	9,421
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.7	1.0	△1.8	△0.9	△0.5
純資産総額 (百万円)	116	107	65	58	51	42

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。また、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注2) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、主に米国企業の発行する、実質的な償還までの期間が概ね5年以下の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことを基本方針としており、また一部バンク・ローンに投資する場合があります。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

【為替ヘッジなし】

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年10月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

決算日	2015年10月20日 (期初)	2016年10月20日 (決算日)	2017年10月20日 (決算日)	2018年10月22日 (決算日)	2019年10月21日 (決算日)	2020年10月20日 (決算日)
基準価額 (円)	10,326	9,294	10,241	10,258	10,064	9,858
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	50	200	50	50	50
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△9.5	12.3	0.7	△1.4	△1.6
純資産総額 (百万円)	205	131	131	99	102	87

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。また、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注2) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、主に米国企業の発行する、実質的な償還までの期間が概ね5年以下の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことを基本方針としており、また一部バンク・ローンに投資する場合があります。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 投資環境

### <米国ハイ・イールド債券市場>

当期は、市場変動や原油相場の動向を始めとして、幾つかの要因が米国ハイ・イールド債券市場に影響を与えました。

当期初は、米中通商協議の進展や、英国のEU（欧州連合）離脱を巡る地政学的リスクが低下したことに加え、予想を上回る決算発表や、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融緩和策に下支えされて、世界の経済成長に対する投資家心理が改善したことにより上昇しました。2020年に入り、米国株式市場が市場最高値を更新するなど、2月中旬までは引き続き底堅く推移しました。しかし、2月下旬以降は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による景気後退懸念、およびOPEC（石油輸出国機構）とロシアの原油減産合意決裂によるエネルギー価格急落などを受けて、他のリスク資産同様に米国ハイ・イールド債券市場も大幅に下落しました。4-5月になると、新型コロナ新規感染者数の伸びが鈍化したほか、ワクチン/治療薬開発の進展期待や、FRBによる追加的な金融支援策等による投資家心理の改善から、株式市場とともに急反発しました。また、6月以降は、フォーリン・エンジェル（投資適格から投資不適格に格下げされた債券）が好調となったことや、米金利の低下、利回りを求める投資家からの需要や債券の分散化による恩恵を受け、ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

### <為替市場>

ドル円為替レートは円高ドル安となりました。当期初は、米中対立再燃のほか、香港情勢や中東情勢が緊迫化したものの、米中通商協議を巡る第一段階合意に加え、堅調な米経済指標や企業業績を受けて112円台まで円安が進みました。2020年2月下旬以降、新型コロナの世界的な感染拡大を受けて、ヒトとモノの移動制限によって経済活動の停滞と企業業績の下振れへの警戒から投資家のリスク回避姿勢が急速に強まり、101円台まで円が急伸しました。ただ、主要中央銀行や各国政府による前例のない金融・財政政策が実施される中、5月以降は中国や欧米などで経済活動の動きが広がり、景気底入れを示す米経済指標、新型コロナ治療薬/ワクチンの早期開発期待が円安要因となる一方で、新型コロナ感染第2波への警戒に加え、ハイテク分野を巡る米中対立の激化やFRBの低金利政策長期化に伴う日米金利差縮小が意識されたことが円高要因となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

本ファンドの運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍外国投資信託証券（円建て）「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり/為替ヘッジなし）」への組み入れを高位に保つことで、主として米国企業が発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券（償還期限 概ね5年以下）に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指して運用を行いました。

組入ファンドにおける当作成期の運用状況は以下の通りです。

### <アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり/為替ヘッジなし）>

主に米国市場で取引されている、米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券等に投資することで、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指して運用を行いました。実質的な償還までの期間が概ね5年以下のハイ・イールド債券を中心に投資し、金利変動リスクと信用リスクの低減に重点を置いて

ポートフォリオを構築しました。2020年9月末時点での組入銘柄数は104銘柄、業種構成では38業種に分散されています。ポートフォリオの平均最低利回りは5.7%、平均修正デュレーションは1.7年、平均格付はBB-となっています。

#### <あおぞら・マネー・マザーファンド>

本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。主要投資対象となっていた第336回利付国債（2年）が2016年1月に償還を迎えた後、有担保コール翌日物および金銭信託による運用を続けてきましたが、当期末時点では有担保コール翌日物が主要投資対象となっています。

#### 当該投資信託のベンチマークとの差異

本ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

#### 分配金（1万口当たり、税引前）

本ファンドの収益分配方針に従い、当期の分配金は以下の通りといたしました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

#### 分配原資の内訳

##### 【為替ヘッジあり】

(単位：円、1万口当たり、税引前)

	第6期	
	自	2019年10月22日 至 2020年10月20日
当期分配金		100
(対基準価額比率)		1.050%
当期の収益		—
当期の収益以外		100
翌期繰越分配対象額		382

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

##### 【為替ヘッジなし】

(単位：円、1万口当たり、税引前)

	第6期	
	自	2019年10月22日 至 2020年10月20日
当期分配金		50
(対基準価額比率)		0.505%
当期の収益		—
当期の収益以外		50
翌期繰越分配対象額		1,168

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

#### 今後の運用方針

##### <本ファンド>

今後も当初の運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍外国投資信託証券（円建て）「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」への組み入れを高位に保つことで、主として米国企業が発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券（償還期限 概ね5年以下）に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。



<アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) >

本ファンド戦略の運用方針に変更はありません。米国ハイ・イールド債券市場で長期に渡ってリターンを獲得するために重要なことは、企業ファンダメンタルズを丹念に分析・観察することであり、今後もこの投資哲学に基づいて、環境変化に機動的に対応できる企業を発掘していく方針です。

<あおぞら・マネー・マザーファンド>

今後も当初の運用方針に従い、引き続き、本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

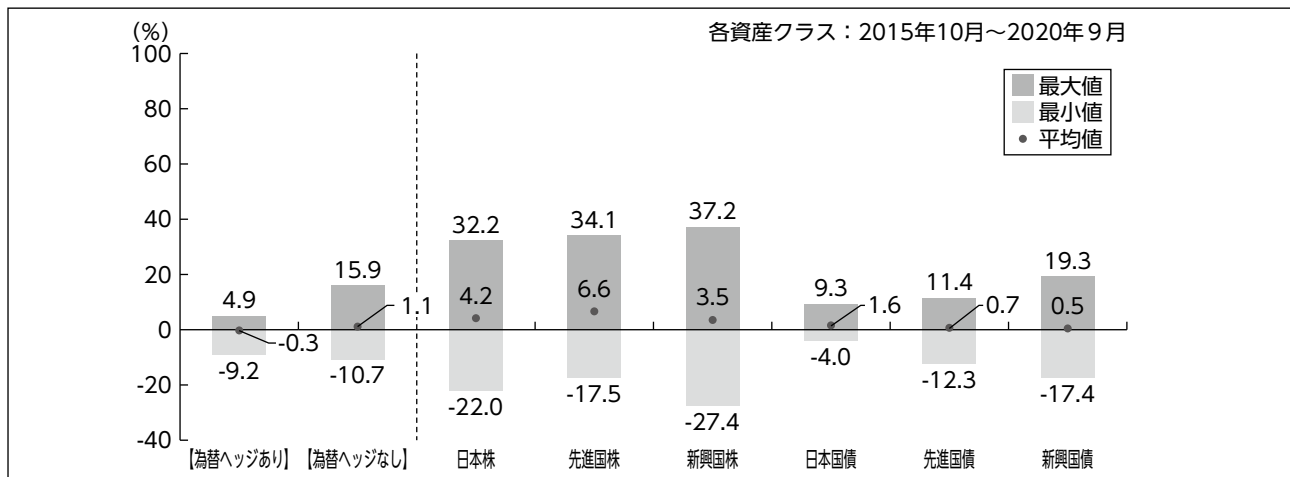
## お知らせ

該当事項はございません。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として米国市場の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことで、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託受益証券 (円建て) アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) ・親投資信託 あおぞら・マネー・マザーファンド
運用方法	①主として、別に定める投資信託証券への投資を通じて、主に米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券 (以下「ハイ・イールド債券」といいます。) に投資を行います。 ②投資にあたっては、実質的な償還までの期間が概ね5年以下のハイ・イールド債券を中心に投資し、価格変動リスクと信用リスクの低減に重点を置いてポートフォリオを構築します。なお、バンク・ローンに投資する場合があります。 ③ハイ・イールド債券に投資する投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。 ④「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジあり)」は外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行います。 ⑤「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジなし)」は外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は分配を行わない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年10月～2020年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、本ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示したものです。

※上記は、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

※本ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### <代表的な各資産クラスの指数>

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI-KOKUSA1 インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

※東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

※MSCI-KOKUSA1 インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す指数です。なお、NOMURA-BPI に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

※FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容 (2020年10月20日現在)

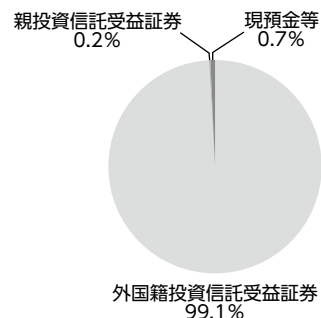
あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジあり)

#### ○組入ファンド (2銘柄)

	組入比率
アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり)	99.1%
あおぞら・マネー・マザーファンド	0.2%
その他	0.7%

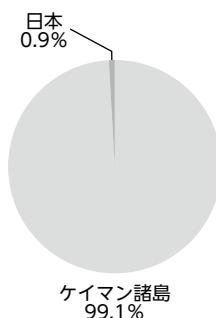
※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### ○資産別配分

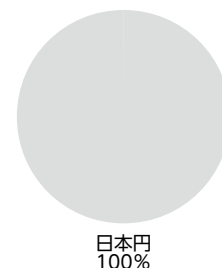


※比率は純資産総額に対する割合です。

#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



#### ○純資産等

項目	当期末
	2020年10月20日
純資産総額	42,267,458円
受益権総口数	44,866,539口
1万口当たり基準価額	9,421円

※当期中における追加設定元本額は3,721,075円、同解約元本額は13,201,895円です。

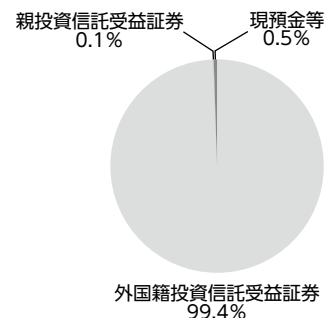
## あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジなし）

### ○組入ファンド（2銘柄）

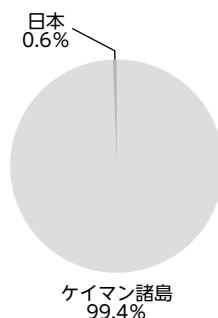
	組入比率
アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジなし）	99.4%
あおぞら・マネー・マザーファンド	0.1%
その他	0.5%

※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。また、各組入比率の合計は端数処理の関係上、100%にならない場合があります。

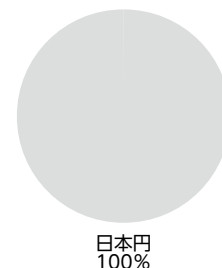
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分



※比率は純資産総額に対する割合です。また、各配分比率の合計は端数処理の関係上、100%にならない場合があります。

### ○純資産等

項目	当期末
	2020年10月20日
純資産総額	87,239,067円
受益権総口数	88,495,872口
1万口当たり基準価額	9,858円

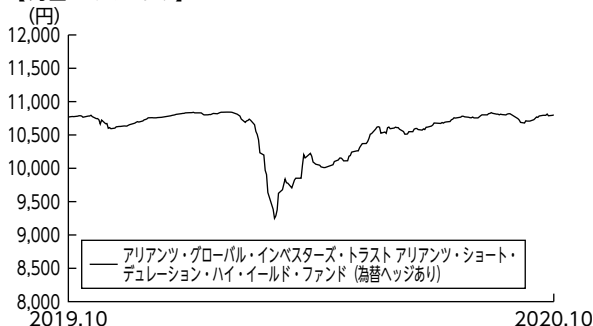
※当期中における追加設定元本額は23,167,184円、同解約元本額は36,832,615円です。

## 組入上位ファンド (銘柄) の概要

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

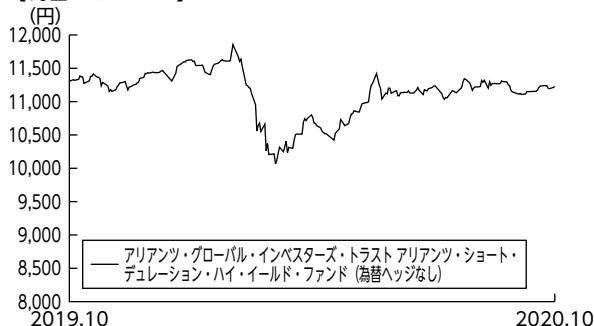
### 基準価額の推移 (2019年10月22日～2020年10月20日)

【為替ヘッジあり】



(注) 当該ファンドの当初組入れ時 (2014年10月31日) を10,000として指数化しております。

【為替ヘッジなし】



(注) 当該ファンドの当初組入れ時 (2014年10月31日) を10,000として指数化しております。

## ○上位10銘柄

銘柄名	国	種別	利率	償還日	比率
1 アシュリオン	米国	バンク・ローン	-	2023/11/3	3.10%
2 PETSMART INC TL	米国	バンク・ローン	-	2022/3/11	3.09%
3 アライアンス・データ・システムズ	米国	社債	4.75%	2024/12/15	3.05%
4 CVR エナジー	米国	社債	5.25%	2025/2/15	2.78%
5 CONNECT FINCO SARM/CONN	英国	社債	6.75%	2026/10/1	2.73%
6 アシュリオン	米国	バンク・ローン	-	2025/8/4	2.48%
7 ボッシュ・ヘルス・カンパニーズ	米国	社債	7.00%	2024/3/15	2.46%
8 ペンスキー・オートモーティブ・グループ	米国	社債	5.75%	2022/10/1	2.34%
9 フライ・リーシング	アイルランド	社債	6.38%	2021/10/15	2.29%
10 PBFホールディング	米国	社債	7.25%	2025/6/15	2.28%
組入銘柄数				104銘柄	

(注1) 上位10銘柄のデータは2020年9月30日現在のものです。本データは、アリアンツ・グローバル・インベスターズの情報を基に委託会社で作成したものです。監査は受けておりません。

(注2) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

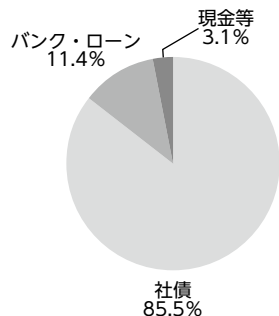
(注4) バンク・ローンの利率は変動する場合がありますため、「-」と表示しています。

※個別銘柄を推奨するものではありません。

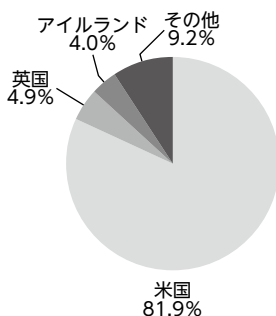
## ○1万口当たりの費用明細

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンドのAnnual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示されていないため、記載できません。

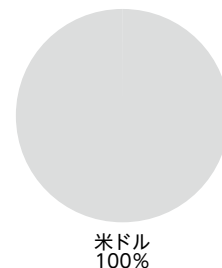
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年9月30日現在のものです。本データは、アリアンツ・グローバル・インベスターズの情報を基に委託会社が作成したものです。監査は受けておりません。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページおよび3ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2020年9月30日現在のもので、本データはアリアンツ・グローバル・インベスターズのデータを基に委託会社が作成しています。

(注2) 各項目の比率は、指定投資信託証券の資産総額に対する割合です。各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### ○資産構成

資産	比率
債券	85.5%
バンク・ローン	11.4%
現預金等	3.1%
合計	100.0%

### ○格付構成比

格付	比率
B B B格以上	6.6%
B B格	43.2%
B格	32.6%
C C C格以下	4.8%
無格付	9.6%
現預金等	3.1%
合計	100.0%

(注) 格付構成比は投資顧問会社が定義した分類によるものです。

### ○国別構成比

国	比率
米国	81.9%
英国	4.9%
アイルランド	4.0%
その他	6.1%
現預金等	3.1%
合計	100.0%

(注) 国は組入銘柄の発行体の所在国を示しています。(投資顧問会社による定義)

### ○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：104銘柄)							
	銘柄名	種別	国	利率	償還日	利回り	比率
1	アシュリオン	バンク・ローン	米国	—	2023/11/3	3.6%	3.1%
2	PETSMART INC TL	バンク・ローン	米国	—	2022/3/11	4.2%	3.1%
3	アライアンス・データ・システムズ	社債	米国	4.75%	2024/12/15	6.5%	3.1%
4	C V R エナジー	社債	米国	5.25%	2025/2/15	8.8%	2.8%
5	CONNECT FINCO SARL/CONNE	社債	英国	6.75%	2026/10/1	6.7%	2.7%
6	アシュリオン	バンク・ローン	米国	—	2025/8/4	6.6%	2.5%
7	ボッシュ・ヘルス・カンパニーズ	社債	米国	7.00%	2024/3/15	5.8%	2.5%
8	ペンスキー・オートモーティブ・グループ	社債	米国	5.75%	2022/10/1	5.6%	2.3%
9	フライ・リーシング	社債	アイルランド	6.38%	2021/10/15	6.1%	2.3%
10	P B F ホールディング	社債	米国	7.25%	2025/6/15	14.5%	2.3%

(注1) バンク・ローンの利率は変動する場合があります。「—」と表示しています。

(注2) 利回りは、最終利回りを記載しています。

(注3) 比率は純資産総額に対する割合です。

※個別銘柄を推奨するものではありません。

### ○ポートフォリオ概況

最終利回り	6.2%
最低利回り	5.7%
平均残存年数	3.6年
修正デュレーション	1.7年
平均格付	B B -

(注1) 最低利回りとは、早期償還条項等、債券に内包されたオプション等を考慮して計算した利回りのうち、最も低いものです。

(注2) 上記の各種利回りは、実際の投資家利回りとは異なります。

(注3) デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い(短い)ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく(小さく)なります。

(注4) 平均格付とは、基準日時点での保有債券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。

(注5) 上記数値は、現預金を含めて算出したものです。

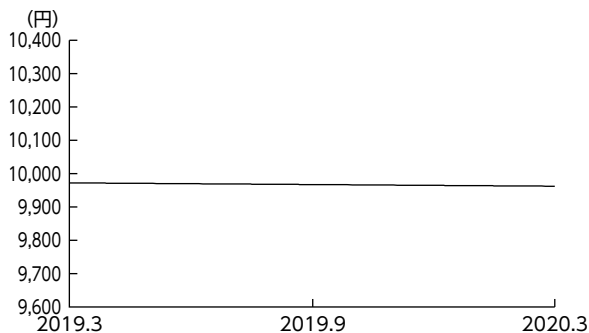
### ○組入上位5業種

業種名	比率
専門小売	10.0%
ガス配給	9.4%
石油精製&マーケティング	5.6%
損害保険	5.6%
消費者金融/商業金融/リース金融	5.3%

## 組入上位ファンド (銘柄) の概要

### あおぞら・マネー・マザーファンド

#### 基準価額の推移 (2019年3月16日～2020年3月16日)



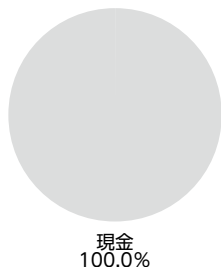
#### ○上位10銘柄

2020年3月16日現在、該当事項はありません。

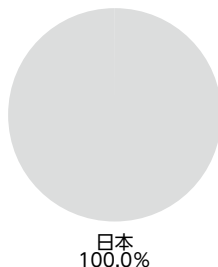
#### ○1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.000

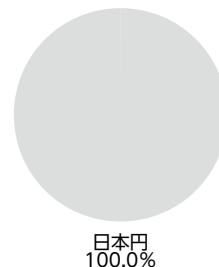
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年3月16日現在のものです。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む)」を期中の平均基準価額 (9,967円) で除して100を乗じたものです。

(注4) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページおよび3ページの注記をご参照ください。

(注5) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。